

「顔の見える関係」から「手をつなぎ合える関係」をめざして

ことう地域チームケア研究会 たよい

平成30年9月28日発行

第34回ことう地域チームケア研究会を開催しました

- ◆開催日時:平成30年9月13日(木) 18:30~20:30 (会場:くすのきセンター)
- ◆担当団体:彦根薬剤師会・市・町の地域包括支援センター
- ◆参加者:84名(医療関係者25名、福祉関係者15名、行政・包括等44名*内新規13名)

「わかまちの地域包括ケア Part2」

昨年度に引き続いて

地域の中で、医療と介護の連携について、専門職間の連携や住民と様々な分野をつなぐ重要な「ハブ（つなぐ）機能」を果たしている薬局と地域包括支援センター。それぞれが地域で行っている活動について報告をしていただきました。

平成30年度滋賀県薬剤師会

健康サポート機能の見える化推進事業 『まかせてよ！もっと身近に 薬剤師』

◆彦根薬剤師会 池田富美子さん（リリー薬局）

健康サポート機能としての薬局機能・薬剤師職能を地域で活用する仕組みの構築！！

<事業目的>

地域住民・関係他職種・行政への薬局における健康サポート機能の理解と発信・アピール

- ①地域住民に健康サポート機能を実感
- ②関係他職種と協働でイベントを実施
- ③関係多職種にも健康サポート機能を実感

<事業内容>

毎月、健康サポートテーマを設定し、関係他職種と協働で地域住民・患者に健康維持増進に関する提案を行い、薬局における健康サポート機能を実感していただく

老若男女、健康に心配のある方はもちろん、現在健康な方にとっても身近な薬剤師に！



毎月開催！健康生活提案イベント

彦根県薬剤師会では、他の職種や連携先機関と協働して毎月健康に役立つ情報を提供しています！

- 8月 健診・検診に行こう！
- 9月 災害時の備え大丈夫ですか？
- 10月 薬と健康の月間
- 11月 生活習慣病と歯科受診のすすめ
- 12月 フレイルってご存知ですか？
- H31年1月 「うっかりドローピング」

もっと身近に薬剤師

彦根県健康推進アプリ BIWA-TEKU をダウンロードしよう！

上記の毎月薬局健康イベントに参加すると健康ポイントGET!

薬剤師は皆様の健康生活を応援します。お気軽にかかりつけ薬局にご相談ください。

一社代表 彦根県薬剤師会

『地域包括支援センターの取組』

- ◆彦根市 益田 亜紀さん（医療福祉推進課）
寺橋富美子さん（彦根市地域包括支援センターゆうじん）
- ◆愛荘町 鈴木 弘美さん（愛荘町地域包括支援センター）



◆「地域包括ケアシステム」「地域包括支援センター」とは

◆彦根市の地域包括支援センターの地域での取組

介護予防・金亀体操



地域の方の健康作り

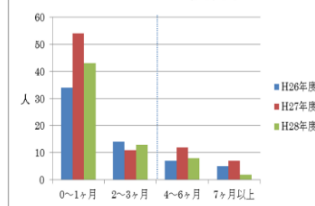


★ケアマネ意見交換会



◆愛荘町の看取りの現状から

死亡までの入院期間



看取りの場所は、病院での看取りが全体の8割程度と多いが、ぎりぎりまで自宅で介護保険サービスを利用しながら自宅で過ごし最期は病院で迎えている状況もある。在宅療養が安心して送れるようにどのような連携や体制づくりが必要か。

◆愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町の「町独自の多職種連携の取組」と「地域包括支援センターの紹介」

4町の地域包括支援センターはすべて町直営です。保険者また他課とのスムーズな連携により、介護予防、福祉、地域づくりなど町の特色を生かした取り組みが行われています。

地域別グループ交流会



○話題提供を聞いた感想・もっと知りたいこと

地域包括支援センターの取組について

- ・「包括ってどういうところか」「何をしているのかわからない」といった意見があった。まだまだ役割や活動内容が知られていない。
- ・写真を見て包括が地域に出ていることを知り驚いた。
- ・金亀体操はどこでやっているのか？詳しく知りたい。
- ・病院には住民から「どこに相談したらいいか」という問い合わせが多く、病院から地域包括支援センターにつながってもらえていることが分かった。

薬局・薬剤師の取組について

- ・薬剤師さんが住民の方に対し、病気になる前の健康な時に対しても取り組みをしていることを知り驚いた。
- ・薬剤師の取り組みは、他職種との「顔の見える関係」から広がりができたことを感じた。
- ・病気の無い時からの薬剤師さんのかかわりは大事だと思った。予防に勝る医療はない。
- ・薬局が民生委員と連携して、住民が出かける場を提案してくれていることが分かった
- ・複数の医療機関から多数の薬が出ている場合の対応について知りたい。残薬袋の活用で意識していけるようにしたいと思った。

地域包括ケアシステムと「自助・互助・共助・公助」

<地域包括ケアシステムを支える「自助・互助・共助・公助」>



○「本人の選択・本人と家族の心構え」 「自助・互助の促進」に対して、患者さん、利用者さん、身近な方々に、どのようなアプローチができるかとよいですか。

- ・防災の面から地域の互助について話し合いができればよいのではないかと。
- ・台風など災害時の対応について互助を考える。
- ・人が集える場所をもっと作っていかないといけない
- ・常時の関係作りが大事
- ・エンディングノートは、残された人が困らないためということで話を勧めていくこともできればよいのではないかと。
- ・本人の意思確認をすることは家族もケアマネも難しい。だれに相談したらいいのか。家族に満足感の得られる介護ができるようにするために専門職が出来ることは何か。

◆今回は、地域包括支援センターのエリアごとにグループを作って話し合いが行われましたが、『これからは、それぞれの地域で「ことう地域チームケア研究会 地域版」ができていくとよいのではないかと』との提案もありました。◆専門職同士が互いを知ることから連携は始まります。今回、二つの団体のハブ機能を知り、またひとつ、つながり合うヒントやきっかけが見つかったのではないのでしょうか。ぜひ明日からの実践につなげてください。



ご参加ください! 次回(第35回)は…

◆平成30年11月8日(木) 18:30~20:30

会場:くすのきセンター1階

テーマ:「これからのリハビリテーション」

担当団体:湖東圏域のリハビリ職

彦根愛知犬上介護保険事業者協議会

*研究会は申込み不要です。当日会場へお越しください

*問い合わせ先:ことう地域チームケア研究会事務局

彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455)

彦根市医療福祉推進課 (TEL 24-0828)

お知らせメールの登録をお願いします。

研究会の開催状況や、次回のご案内をメールでお知らせします。ご希望の方は、「①お名前 ②ご所属 ③一言」をいれて下記にメール送信してください。

☆ことう地域チームケア研究会事務局

(E-mail) info@gen-ai-ken-kaigo.jp

彦根医療福祉推進センター(彦根市・彦根町・豊郷町・甲良町・多賀町)

在宅医療福祉情報の森

<http://kusunoki-jyoho-mori-kotou-shiga.or.jp/>
ホームページで研究会の情報をご覧いただけます。

こんなこと思いました

第34回参加者アンケートより

思ったこと、もう少し聞きたいことなど

【薬剤師】 ◆地域で困っている方の本人の意思をどうやって見つけ解決していくのか、大変だと思いました。

◆初めての参加でしたので自分ももっと勉強していきたいと思いました。

【地域包括支援センター】 ◆薬剤師さんの話をもっと聞きたかった。（介護支援専門員）◆薬局や包括の活動について話し合うことはできたが自助や互助まで深く話せなかった。（社会福祉士）◆包括が何をしているところか知らないという意見もあり包括の事業の内容を知っていただけでよかったです。薬剤師会が健康な方も対象に取組をされていることをはじめて知りました。（社会福祉士）◆包括の日頃の業務の内容が伝えられた。普段薬剤師さんとなかなか関わることがなかったがいろいろお話が聞けてよかった。（社会福祉士）◆薬剤師さんの取組を知ることができてよかったです。（社会福祉士）◆包括の存在があまりまだ浸透していないことが良くわかりました。他の職種の現場の声を聞く良い機会になりました。（社会福祉士）◆薬剤師さんの取組を知ることができてよかったです。サイトなど健康な人にも広めていくことができれば良いと思いました。（社会福祉士）◆介護予防の視点について話し合えてよかった。薬剤師会、包括はもっとPRしないといけないなと実感しました。（看護師）◆グループの中で薬剤師さんの情報が参考になりました。地域包括のことが伝えられて良かったです。（介護支援専門員）

【介護支援専門員】 ◆地域によって良い部分、悪い部分があるとは思いますが、それぞれの利点を生かしたケアができると良いと思います。◆今後の方向性などについてもう少し聞きたい。◆薬剤師さんの訪問について知ることができました。地域包括ケアについて各職種の思いや活動を知ることができれば良いと思いました。◆地域包括支援センターの人たちが何をしているのか、少しだけわかった。◆薬局の機能がわかり、とても勉強になりました。薬剤師の方に直接話が聞けてよかった。◆薬剤師会でいろいろな活動をされていることにびっくりしました。今後活用していきたいと思います。◆薬剤師さんに活躍してもらえるようにしたいと思います。◆地域包括支援センターがこんなにも地域へ出向いていることがわかりよかったですと思います。もっともっとこんな活動をしているということを知らせていただくと良いのかなと感じました。地域資源としてとても役立つ情報でした。

【医師】 ◆地域包括支援センターが抱えている悩みをもっと聞きたかったです。◆本当に家で死ぬことを望んでいるのか？をあらためて考えました。

【看護師】 ◆薬剤師さんが健康な人のことを考えておられることに驚きました。地域包括支援センターの方々はいろいろなことをされているのに地域の方にはあまり知られていないので大変もったいないと思います。◆薬局の活動について知ることができてよかったです。◆包括支援センターで活動する方々の役割や志がよくわかりました。介護保険サービスの居宅療養管理指導のことも理解できてよかった。◆次回、薬剤師さんに実際の居宅訪問の内容、訪問看護よりも感謝された事例などを知りたいです。

【理学療法士】 ◆薬剤師さんの居宅訪問の実際について知りたい。

【医療ソーシャルワーカー】 ◆包括のこと、薬局のこといろいろ聞けてよかったです。各地域の取組をもっと聞きたかったです。

【製薬会社】 ◆ACPについて、他のグループが話した内容を知りたいと思いました。

【保健師】 ◆薬剤師さんの活躍が広がるのに「顔の見える関係」から大きくなってきたんだなあと感じました。◆薬剤師の方のより具体的な活動が知りたいと思いました。

【行政】 ◆地域包括支援センターの役割を知ってもらえる良い機会であった。薬の話は驚くことが多かった。◆大変参考になりました。

【職種不明】 ◆多くの職種の人が一つの目標に向かって助け合っていたらよいと思う。◆薬局の活動が多いことを知った。◆様々な看取りの事例を知りたいと思った。◆自助など今後、本人や周りがそれぞれすべきこと、出来ることをしっかりと行い、決めておかないといけないなと痛感した。

貴重なご意見・ご感想、本当にありがとうございました。

●参加者の方の所属事業所(順不同)

* 同意をいただいた事業所様のみ掲載しています

【病院・診療所】松木診療所・中西医院・彦根市立病院・豊郷病院

【歯科医院】つつみ歯科医院・アンジュデンタルクリニック・杉本歯科医院・たなか歯科クリニック

【薬局】丁字屋薬局・リリー薬局・わかば薬局・疋田調剤薬局・わかば薬局神埼店・ふるす調剤薬局・阪神調剤薬局南彦根店・ツタ薬局愛荘店・

【訪問看護ステーション】レインボウはたしょう・レインボウひこね

【居宅介護支援事業所】笑ケアプランセンター・彦根市社会福祉協議会居宅・ぶどう居宅介護支援事業所・ケアマネジメントセンターライフ・さざなみ苑居宅支援センター・居宅介護支援センター元気村・ケアプランセンターどりーむ・信幸ケアサービスセンター・ゆりの木ケアプランセンター・近江ふるさと会・あったかケアプランセンター

【介護サービス事業所】特別養護老人ホームゆりの郷・トーカイ・サニープレイス彦根・デイケアはるのうみ

【地域包括支援センター】愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町・彦根市(すばる・ハピネス・ひらた・ゆうじん・きらら・いなえ)

【行政関係・医療福祉専門職団体】彦根市医療福祉推進課・多賀町福祉保健課・湖東健康福祉事務所

【その他】エーザイ・中北薬品・スズケン

話題提供の様子



世話人会代表の松木明さんよりまとめの言葉